

# グローバル「子供の森」基金

## 《募 集 要 綱》

### 【趣 意】

私たちの住むかけがえのない地球。その「母なる地球」は今、森林破壊や砂漠化、野生生物種の減少や海洋汚染、さらに温暖化をはじめとする気候変動などさまざまな環境問題を同時に抱えており、年々深刻の度合いを深めています。

なかでも熱帯林をはじめとする森林破壊は、現在でも毎年 1,300万ヘクタールずつ減少を続けており、これら各種の環境問題と複雑に絡みながらまさに危機的な状況を呈しています。この問題については、1992年に開催された地球サミットでのアジェンダ21、及び森林原則声明の採択を機に、国際的な連携に向けての動きが活発化してきており、具体的な森林保全・復興への取り組みも多様なレベルで徐々に活発化してきつつあります。これからは、世界的なレベルでのネットワークを確立しながら、こうした動きを大きな流れとしていくことが求められており、国内にあっても、国民一人ひとりの意識高揚に努めるとともに、政府や自治体、企業、NGOなど各種セクター間の協力関係を強化しながらこの課題に取り組んでいくことが期待されています。

オイスカは1961年の創立以来、アジア太平洋地域を中心とした発展途上国を主な舞台に“人づくり”や“地域開発”等の実践活動を行ってきました。そしてNGOとしてはいち早く1980年から緑化活動に取り組み、植林プロジェクトの設置や植林ボランティアの派遣などを通じて、これら地域での緑化推進に寄与してまいりました。

こうした長年にわたる協力活動の中から、森林破壊を食い止めるための有効な手段として1991年に新たに「子供の森」計画をスタートさせ、今日、大きな成果をあげるに至っています。

この「子供の森」計画は、次代を担う子供たちが主役となつての学校単位の森づくり運動です。途上国の場合、学校の多くは地域社会の中心的な位置として存在しており、子供たちが先生と共に推進する森づくりには、父兄はもちろん周辺の大人たちが温かく見守ってくれており、学校を中心とする小さな緑化への取り組みは徐々に周辺の社会に波紋を広げつつあります。1991年にフィリピンの17校でスタートした本計画は2021年 3月末現在、37の国と地域 5,343校を超えるまで参加の輪が広がり、植林も 4,734ha、770万本以上にのぼっています。

グローバル「子供の森」基金は、年々途上国の学校から寄せられる本計画への参加要請に積極的に対応し、併せて地球規模での緑化再生に向けてより効果を高めるための安定した支援ができることを念願し、設置しているものです。

本趣旨をご理解賜り、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

令和3年4月

公益財団法人 オイスカ

## ●出資参加者の募集について

- 【参加金額】** 1件100万円以上  
※参加者には参加者名を冠した〇〇〇〇「子供の森」基金として永久に登録
- 【参加方法】** 所定の申し込み用紙に記入の上、オイスカ本部、または各地方組織宛に送付
- 【参加単位】** 特に問いません
- 【振込み先】** 三菱UFJ銀行 永福町駅前支店 普通 No.0226678  
※口座名：公益財団法人オイスカ
- 【運用】** 日本の都市銀行に米ドル建ての運用を委託、またはご参加時点で有利な他の手段で運用
- 【報告】** 出資参加者には下記の報告を行います。  
1) グローバル「子供の森」基金への参加者に対し、毎年度、基金の運用実績とともに活動報告書を発行  
2) 毎年「子供の森」計画の関連の中で活動を報告  
3) 当法人の事業報告書（年度毎）及び月刊誌『O I S C A』（随時）にて出資参加を公表
- 【免税措置】** 当法人は「特定公益増進法人」の認定を受けていますので、出資参加金は一定の範囲で免税措置が受けられます。
- 【その他】** 出資参加金は原則として不返還

## ●運用益の使途・活用について

- 【対象地域】** 全世界（但し「子供の森」計画に参加の学校所在国・地域）  
※年度により特定の国、使途内容を指定する場合もある
- 【使途内容】** 1) 「子供の森」計画参加の学校に対する植林・教育支援  
2) 上記学校周辺の環境保全、及び社会開発活動  
3) その他「子供の森」計画の推進にかかわる活動